

## 地下鉄烏丸線可動式ホーム柵設置の進捗状況及び 今後のスケジュールについて

交通局では、地下鉄ホームからの転落や列車との接触を防ぎ、お客様に一層安心して地下鉄を御利用いただくため、お客様が多く混雑する京都駅、四条駅、烏丸御池駅の3駅への可動式ホーム柵設置に取り組んでいます。

昨年12月には、最初の設置駅である烏丸御池駅での供用を開始し、今年度は四条駅、京都駅の順に整備を進めているところです。

この度、先行して整備する四条駅の具体的な日程が決まりましたので、事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて報告します。

### 1 進捗状況

- ・ 平成27年3月中旬 : 四条駅、京都駅の柵本体の製作を開始
- ・ 平成27年7月下旬 : 四条駅ホームの床下での電源工事を開始
- ・ 平成27年8月1日 : 四条駅への柵本体設置に備え、車いすのお客様にスムーズに乗り降りしていただくために、上下線とも列車停止位置を変更（京都駅では列車停止位置の変更は行わない。）

### 2 今後のスケジュール

#### (1) 四条駅

##### ア 柵本体の設置日

- ・ 1番線（竹田方面） 平成27年9月 6日（日）
- ・ 2番線（国際会館方面） 平成27年9月13日（日）

※ 柵本体設置後は、供用開始に向けて、配線工事や調整作業を行う。

##### イ 供用開始日

- ・ 平成27年10月10日（土） 始発から

※ 9月6日から供用開始まで及び供用開始後約1箇月間、四条駅ホームに警備員を配置してお客様の安全な乗降に努める。

#### (2) 京都駅

##### ア 柵本体の設置日

- ・ 平成27年11月中旬

##### イ 供用開始日

- ・ 平成27年12月中旬

(参考1) 事業概要

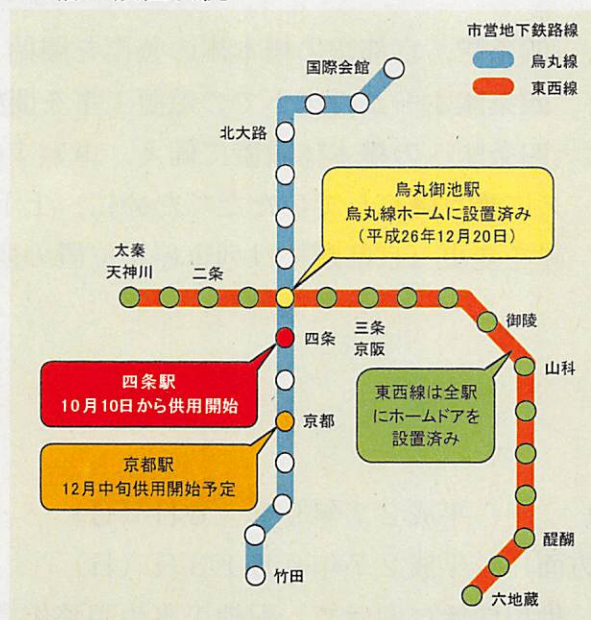
京都市交通局では、お客様に地下鉄をより安全に御利用いただくため、烏丸線において可動式ホーム柵の整備に取り組んでいる。導入に当たっては、厳しい経営健全化計画を推進する中で実現可能な手法として、多額のコストを必要とする車両改造を伴わない方法を用いるとともに、国の補助制度を活用し、お客様が多く混雑する京都駅、四条駅、烏丸御池駅の3駅に整備する。

※ 3駅への可動式ホーム柵設置総事業費（25年度～27年度）  
7.8億円

※ 一日平均乗降人員（平成26年度実績）

- ・ 京都駅 117,205人
- ・ 四条駅 94,111人
- ・ 烏丸御池駅（烏丸線利用者） 89,995人

(参考2) 可動式ホーム柵の設置状況



(参考3) 平成26年12月に可動式ホーム柵を設置した烏丸御池駅の現況

